

『市民向けアンケート』結果概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、市民の意識やまちづくりに対する意向などを把握し、新たな大野市総合計画策定に関する計画課題と施策展望などについて検討するための基礎資料として、実施するものです。

(2) 調査の方法

市内に居住する18歳以上の市民から、無作為にサンプリング対象として抽出し、郵送による配布・回収によりアンケート調査を実施しました。

(3) 調査期間

アンケートの配布・回収 令和元年 7月19日～ 8月 5日

(4) 回収率

配布数	回収数	回収率
1,000	327	32.7%

(5) 掲載数値について

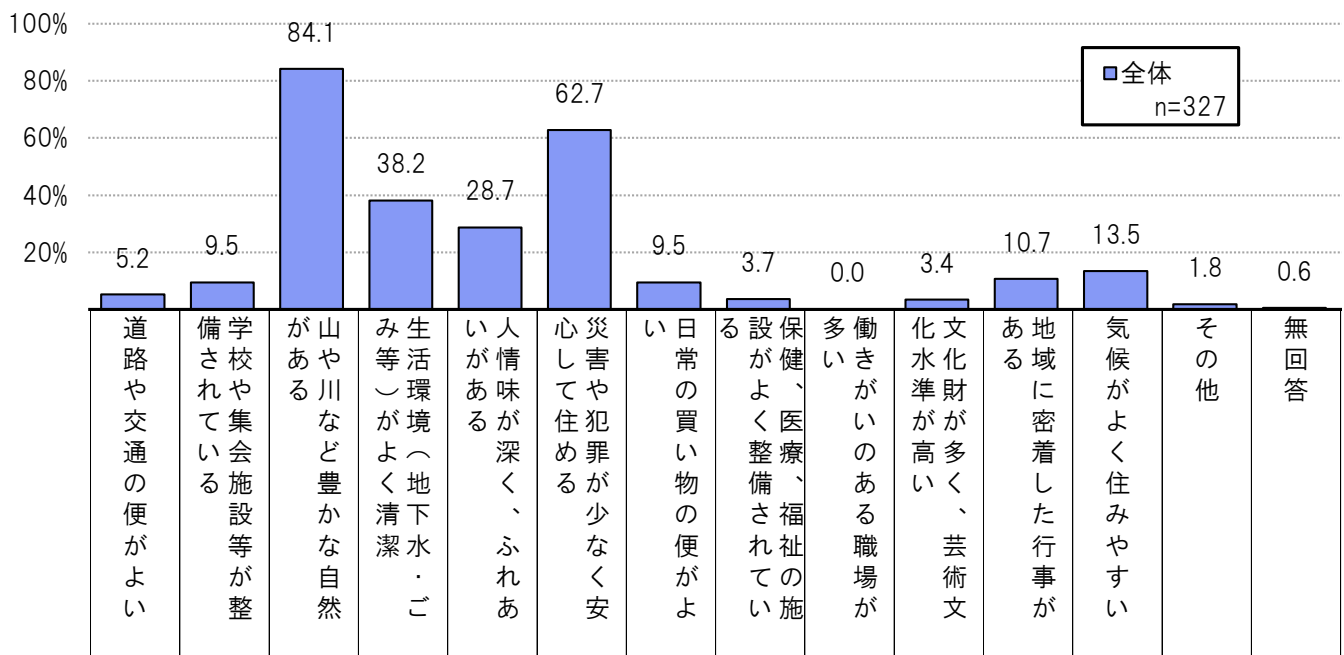
1) 構成比(%)の合計は、個々のデータに対して、小数点第2位を四捨五入しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

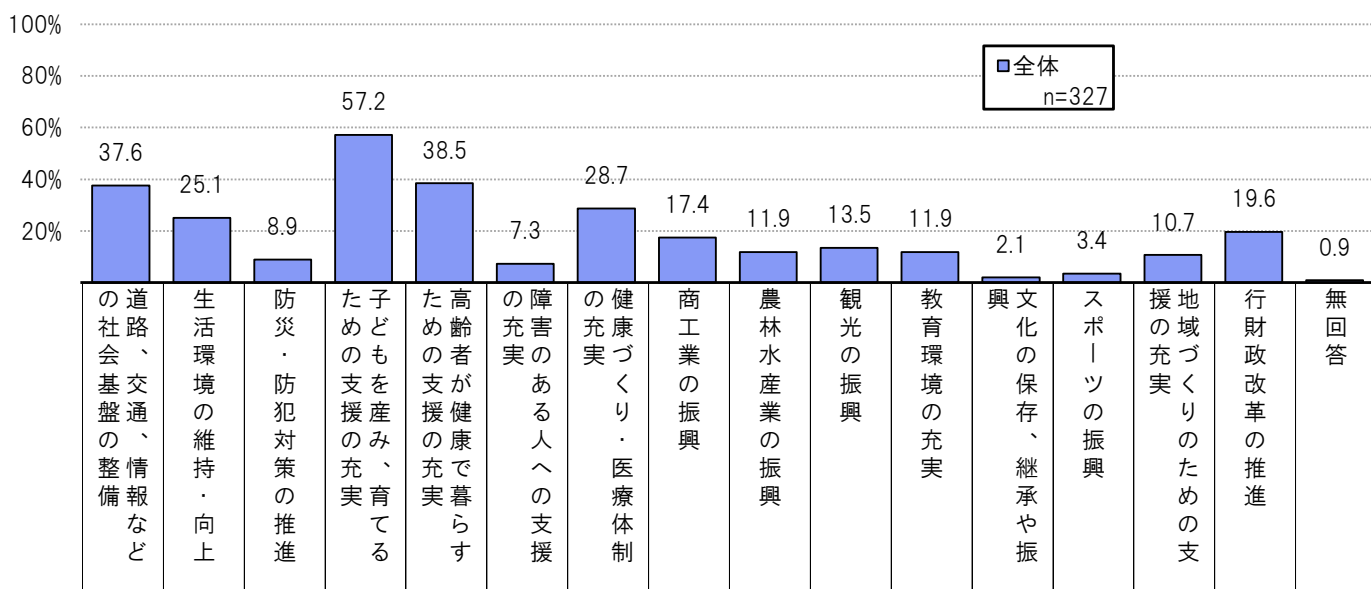
2) 「無回答」は、回答していないものを表しています。

3) その他の意見や自由回答についての掲載は、同じ意見や回答は一つにとりまとめて整理してあります。

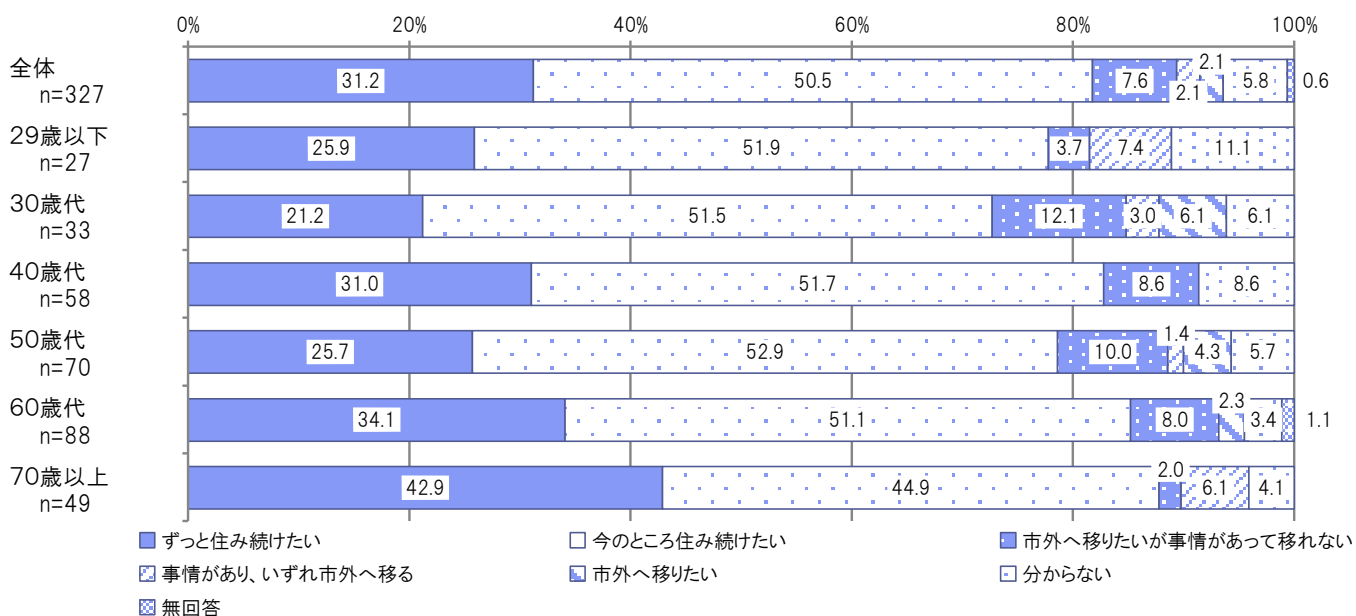
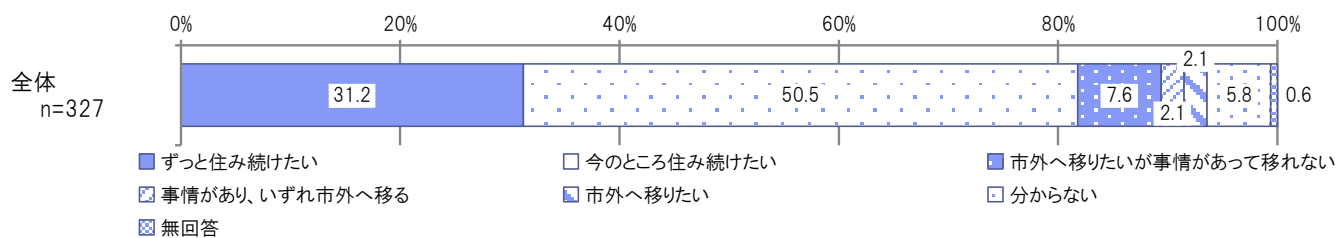
【大野市の現在のイメージ】



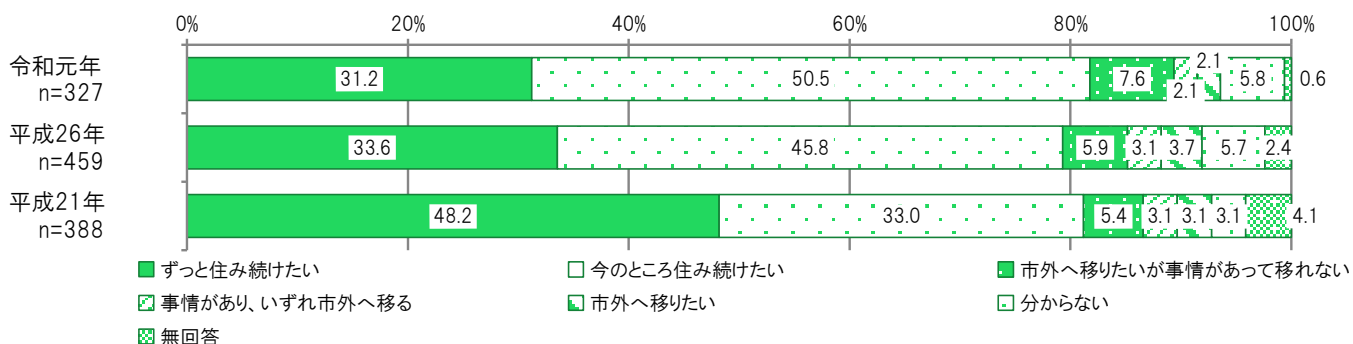
【今後必要となる取り組み】



【居住意向】



参考：平成21年、平成26年、令和元年の比較



<各種施策の満足度・重要度について>

満足度は「満足(10点)」、「やや満足(7点)」、「やや不満(3点)」、「不満(0点)」として集計したものの平均値を得点として集計しています。

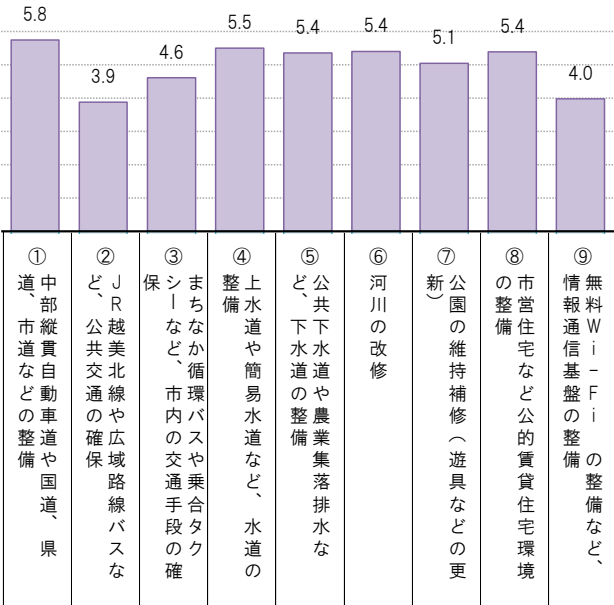
重要度は、項目の中で、重要だと思われる取り組みを2つ又は3つ選択して頂き、項目ごとに回答数を母数で割り集計しています。

満足度

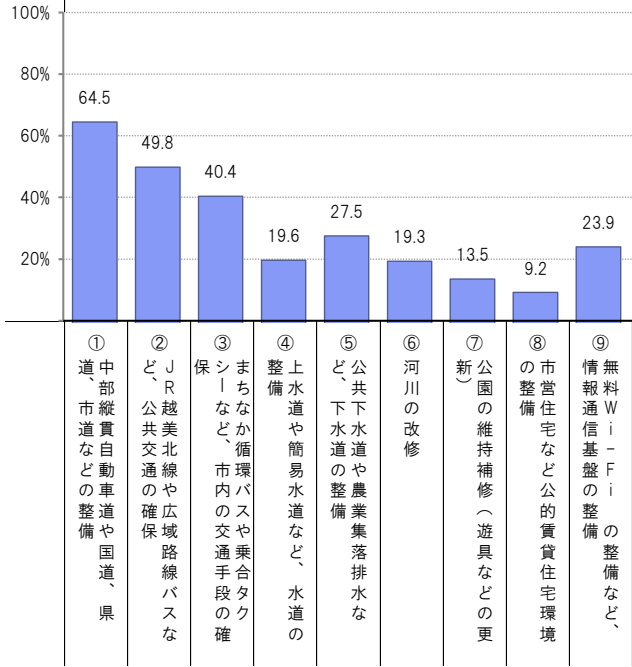
重要度

(1) 道路、交通、情報などの社会基盤について

全体・n=327

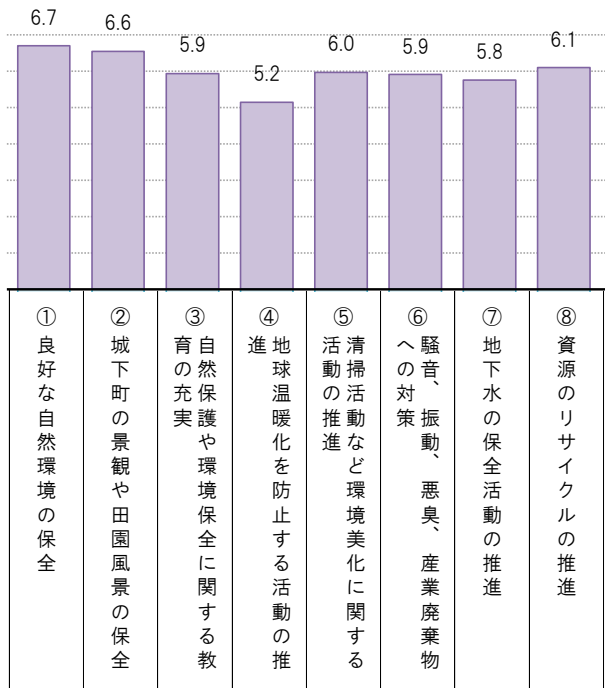


全体・n=327

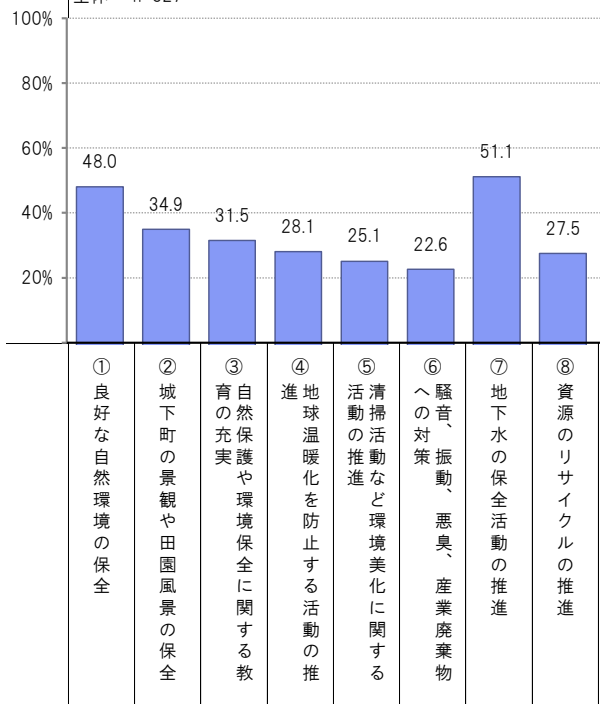


(2) 生活環境について

全体・n=327



全体・n=327



満足度

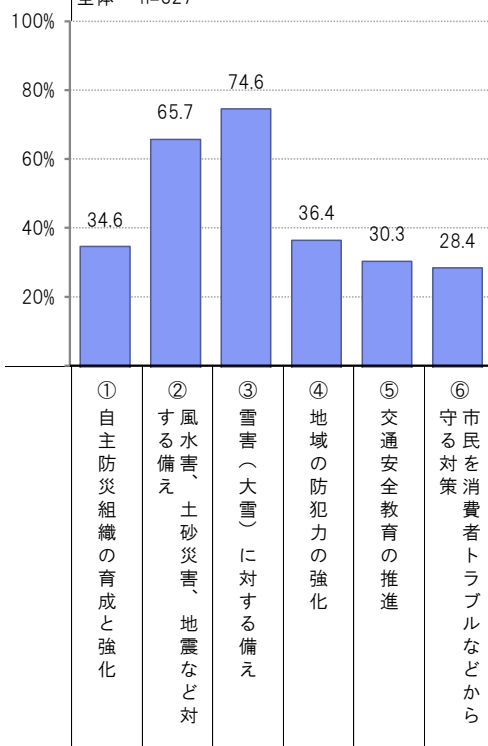
重要度

(3) 防災・防犯について

全体・n=327



全体・n=327

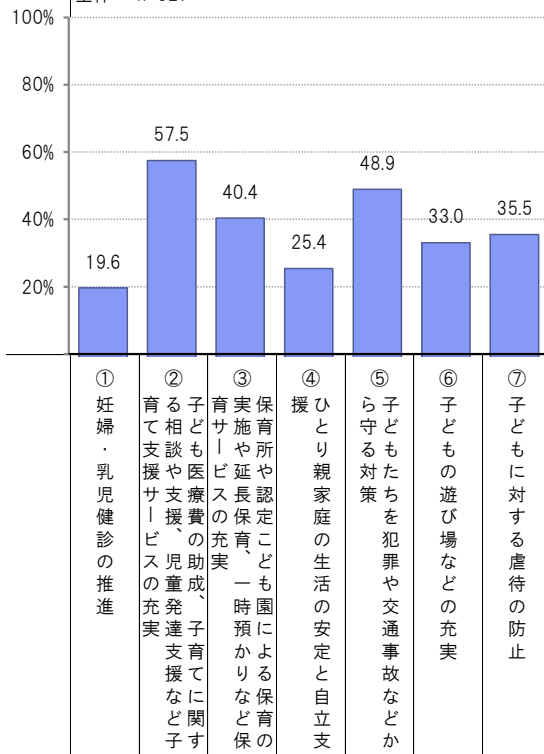


(4) 子どもを産み、育てるための支援について

全体・n=327



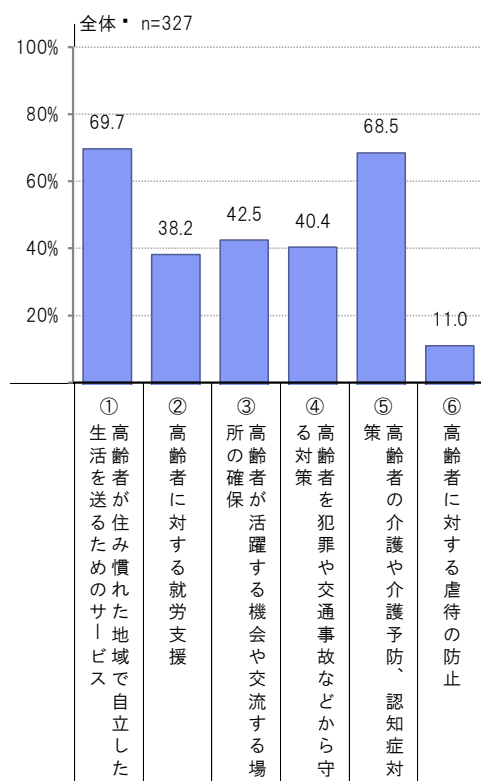
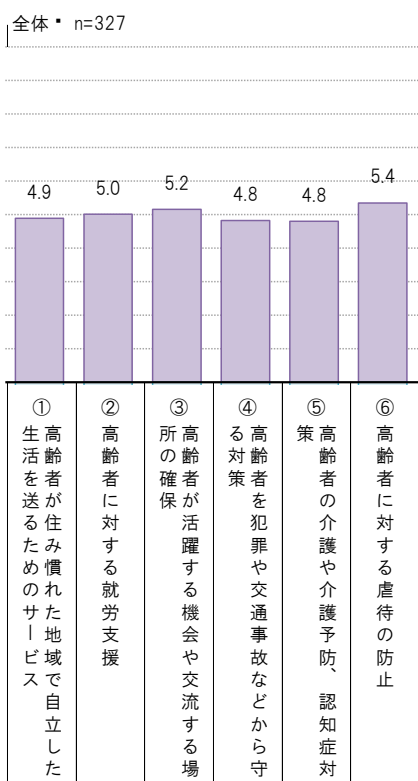
全体・n=327



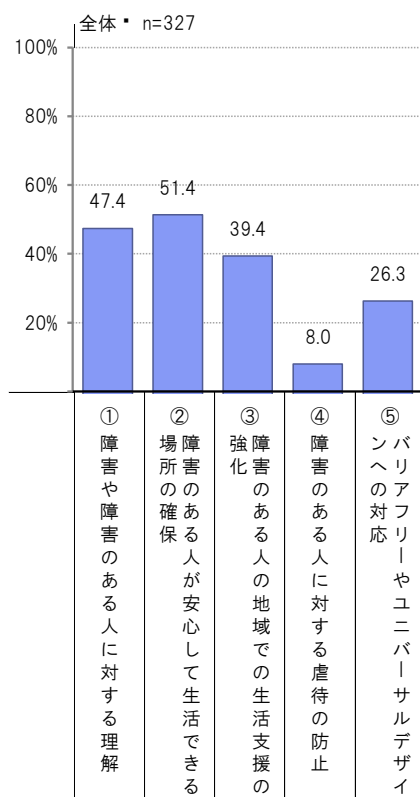
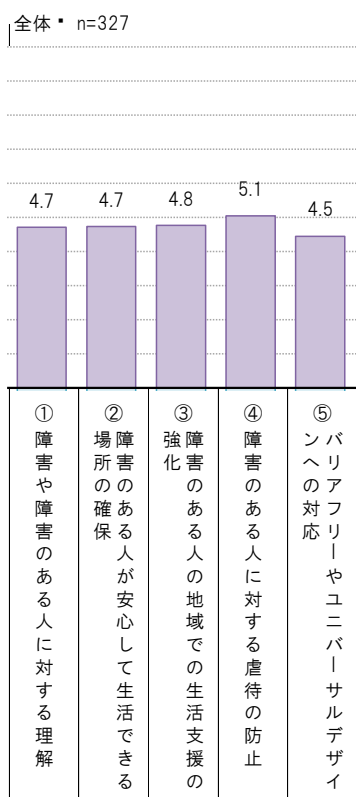
満足度

重要度

(5) 高齢者が健康で暮らすための支援について



(6) 障害のある人への支援について

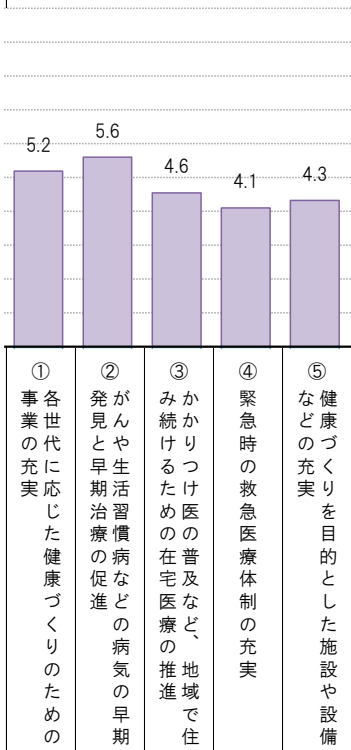


満足度

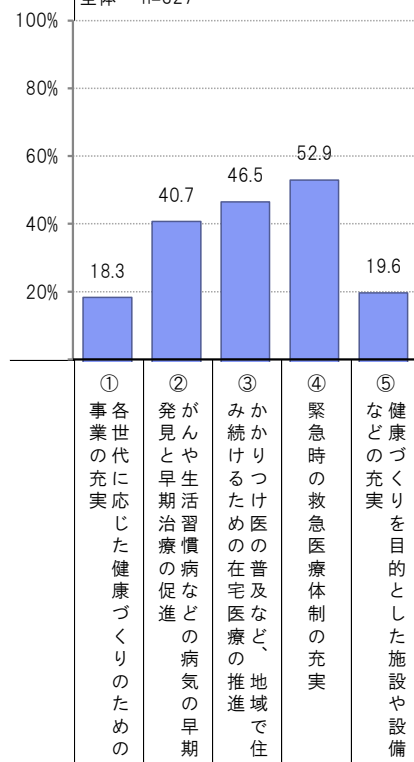
重要度

(7) 健康づくり・医療体制について

全体・n=327

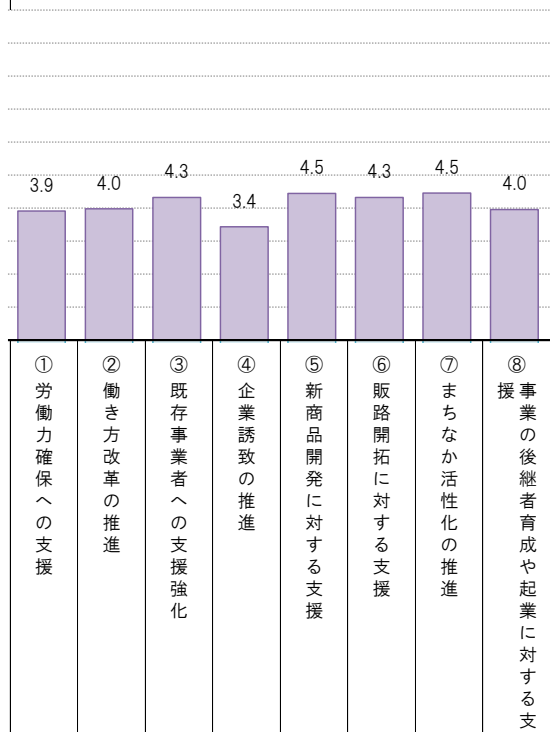


全体・n=327

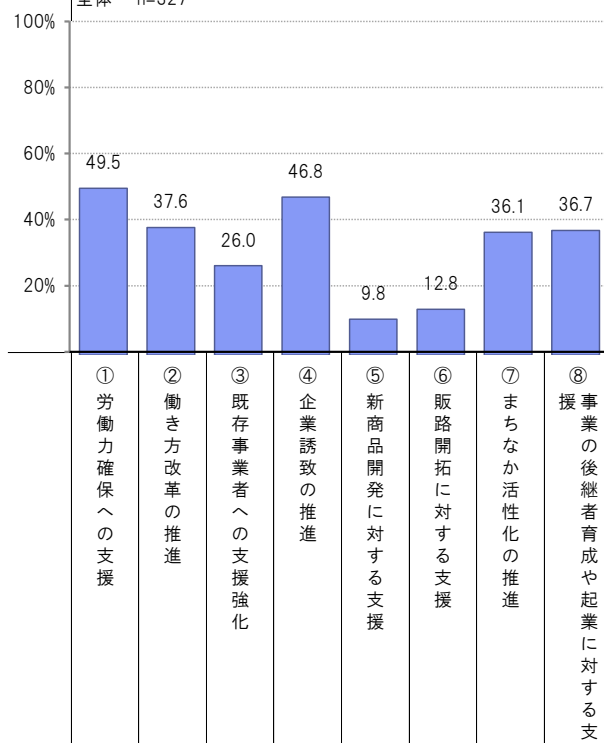


(8) 商工業の振興について

全体・n=327



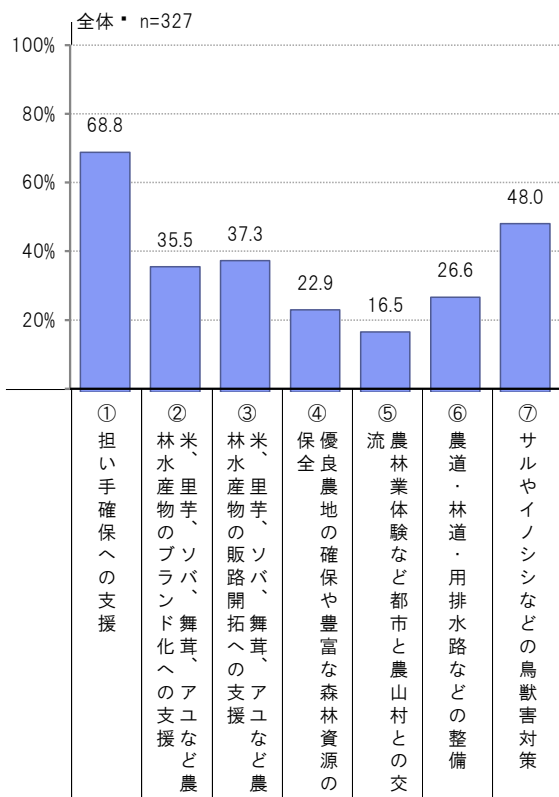
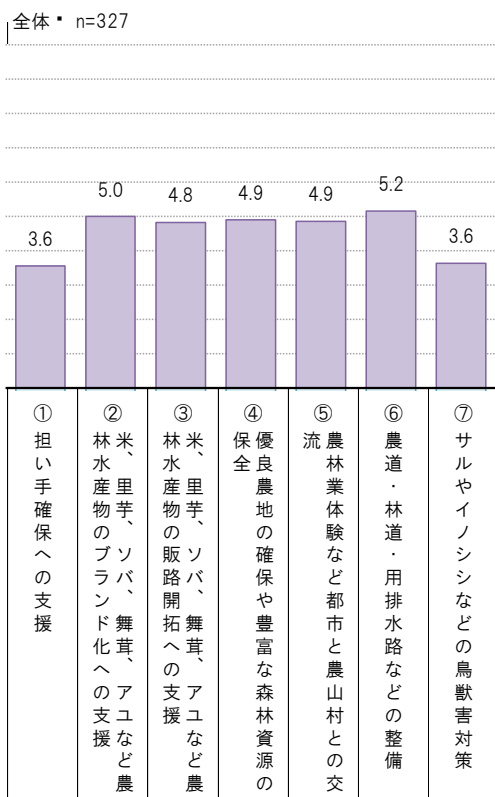
全体・n=327



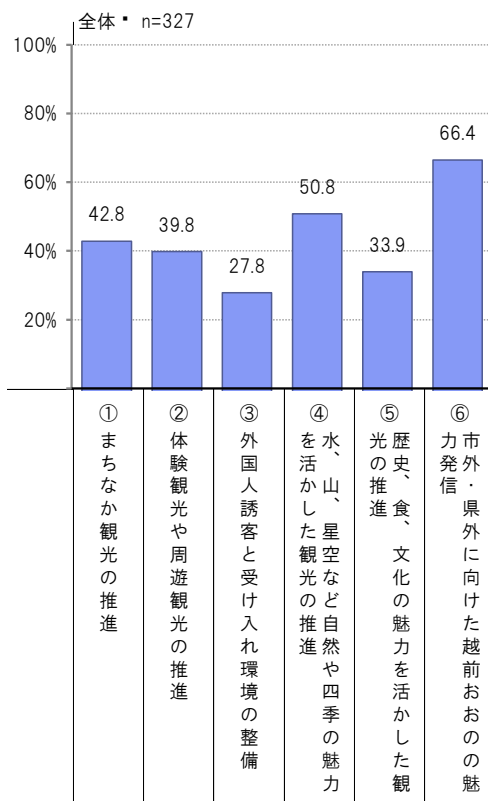
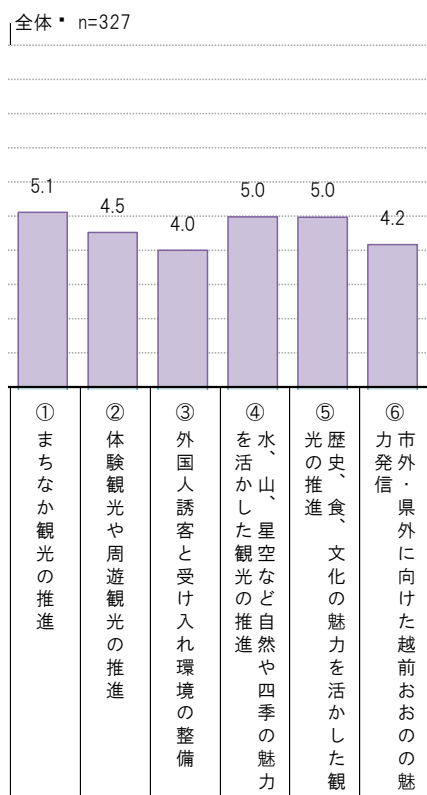
満足度

重要度

(9) 農林水産業の振興について



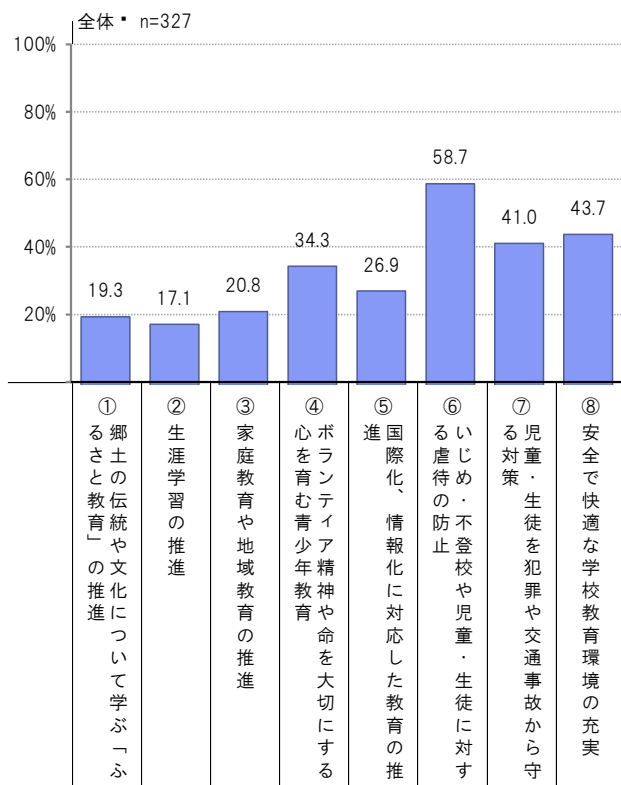
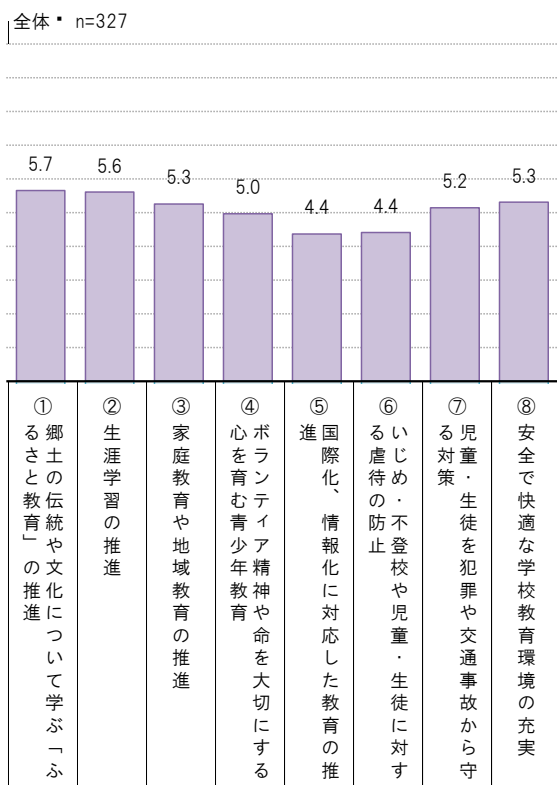
(10) 観光の振興について



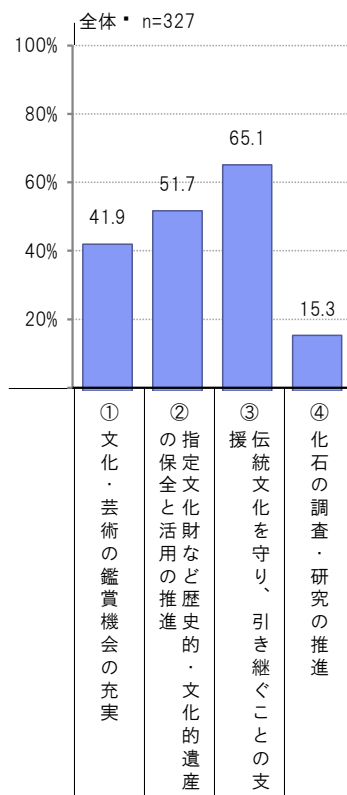
満足度

重要度

(1-1) 教育について



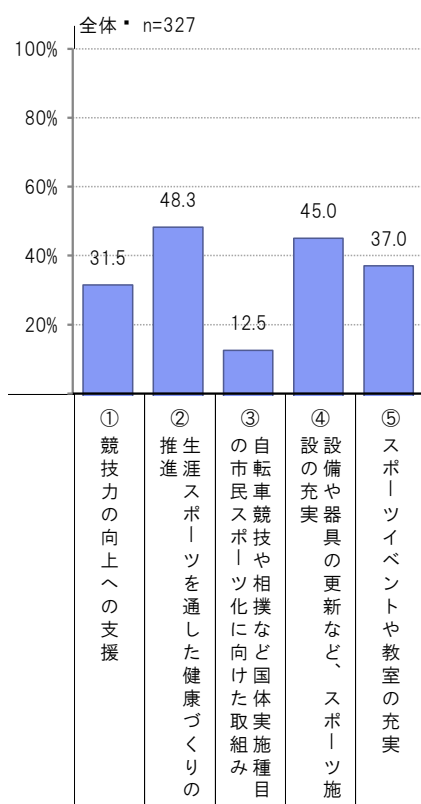
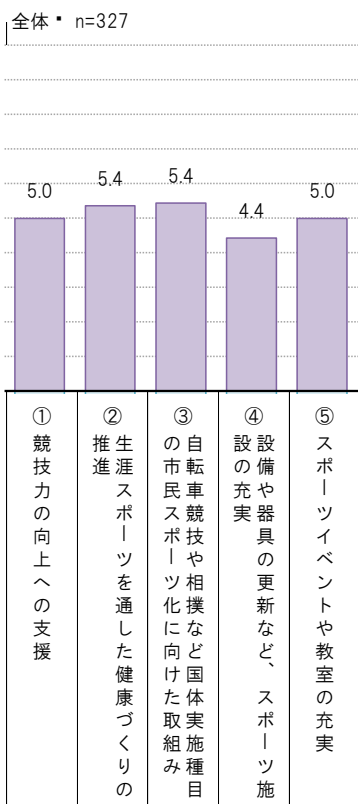
(1-2) 文化の保存や継承、振興について



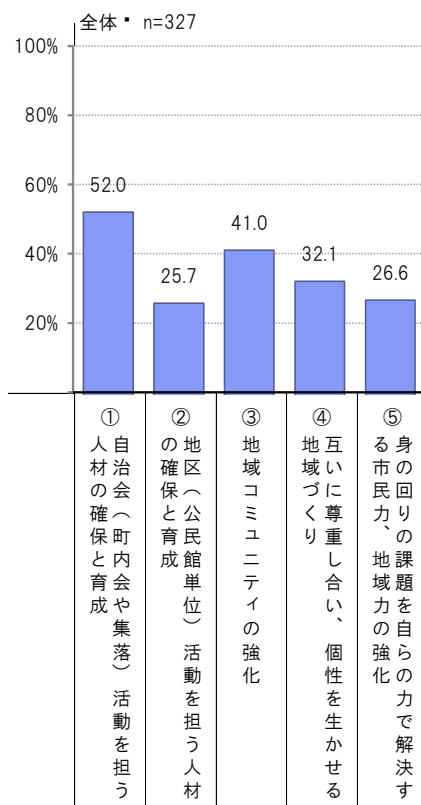
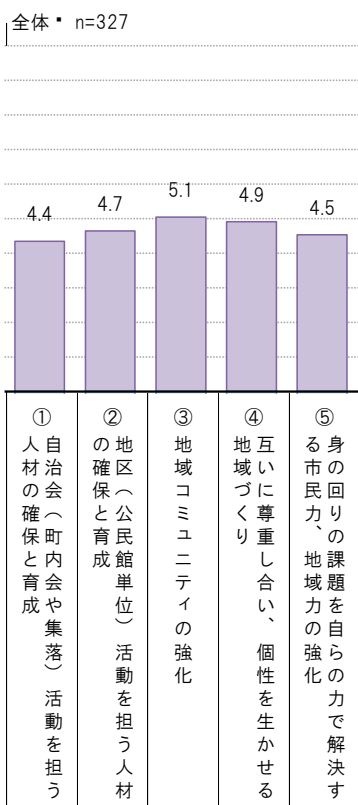
満足度

重要度

(13) スポーツの振興について



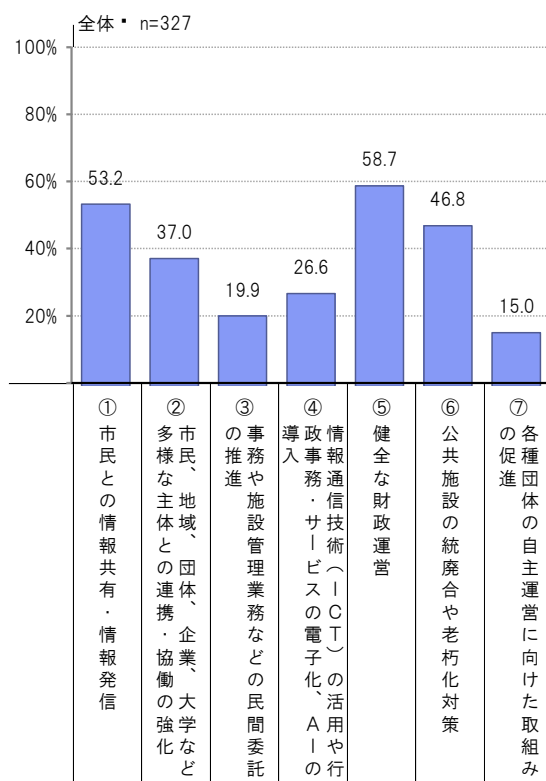
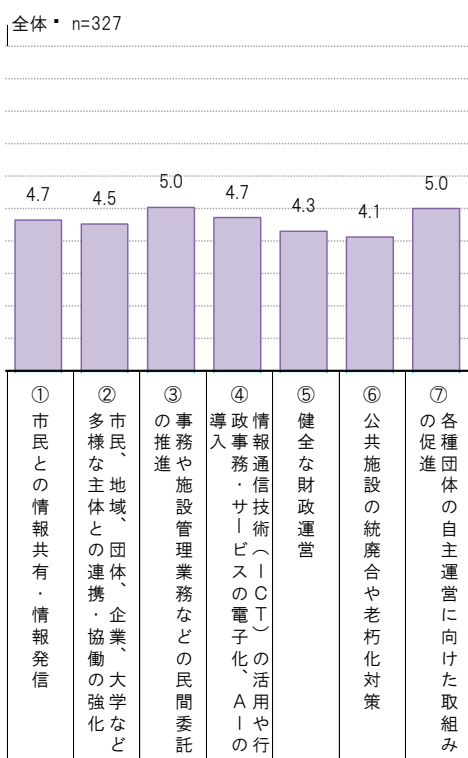
(14) 地域づくりについて



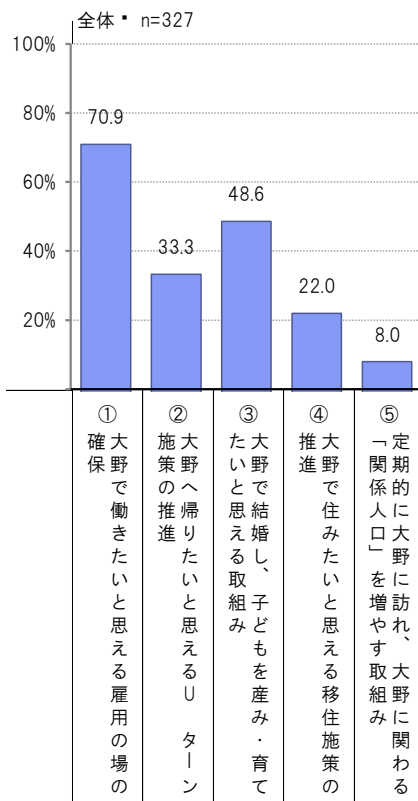
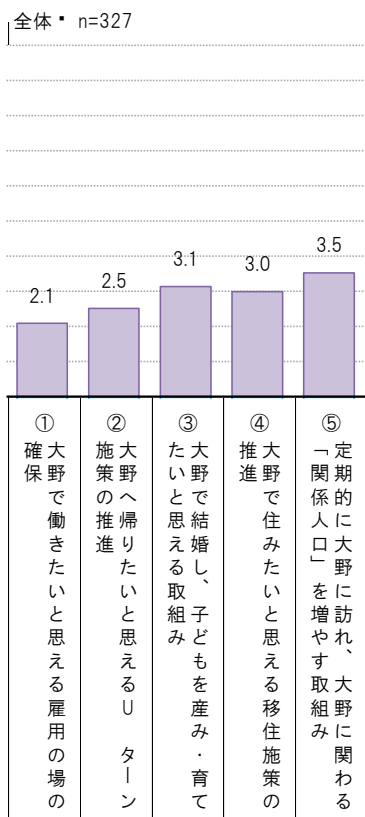
満足度

重要度

(15) 行財政改革について



(16) 人口減少対策について



『中高生向けアンケート』結果概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、市民の意識やまちづくりに対する意向などを把握し、新たな大野市総合計画策定に関する計画課題と施策展望などについて検討するための基礎資料として、実施するものです。

(2) 調査の方法

市内の中学3年生及び高校3年生に対する意識調査を実施しました。

(3) 調査期間

アンケートの配布・回収 令和元年7月8日～7月19日

(4) 回収率

	配布数	回収数	回収率
大野高校	149	135	90.6%
大野高校(定時制)	22	19	86.4%
奥越明成高校	137	134	97.8%
開成中学校	80	76	95.0%
陽明中学校	113	108	95.6%
上庄中学校	36	34	94.4%
尚徳中学校	22	22	100.0%
和泉中学校	3	3	100.0%

(5) 掲載数値について

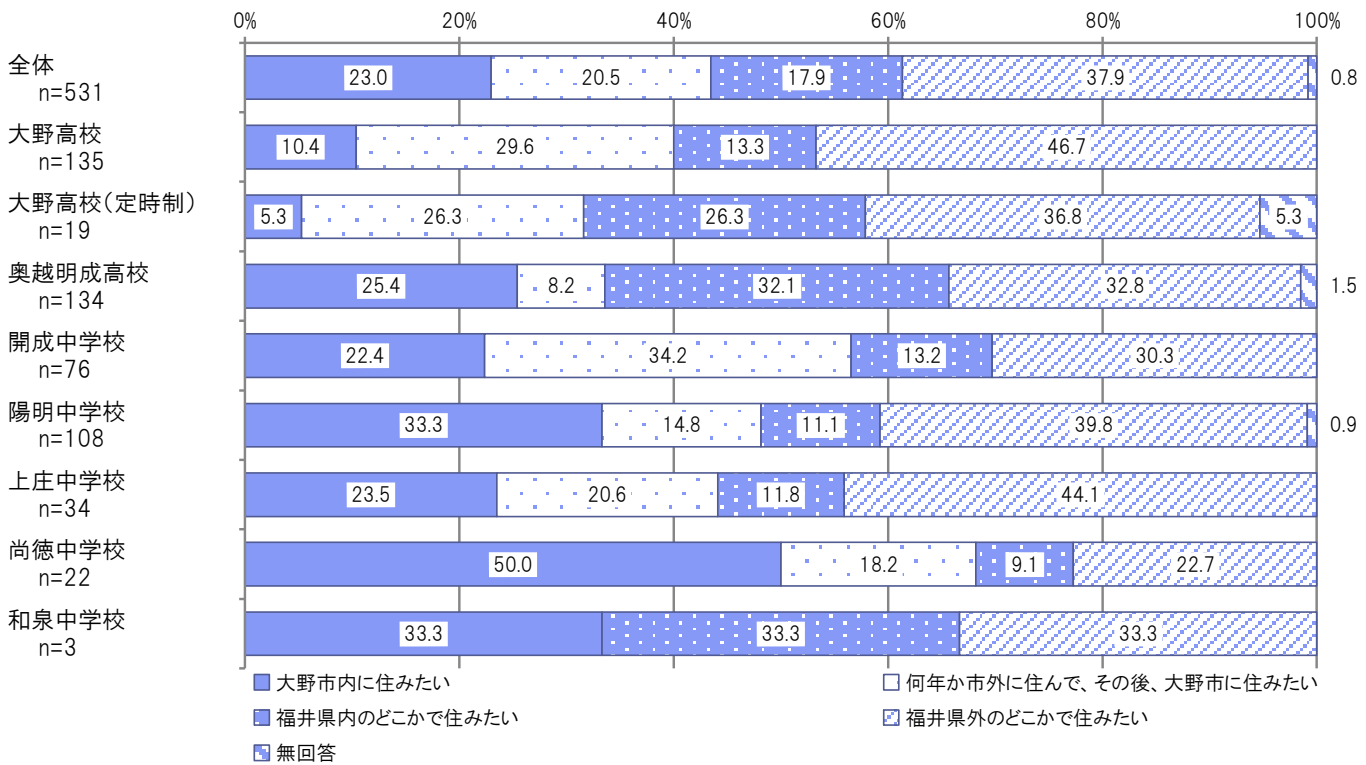
1) 構成比(%)の合計は、個々のデータに対して、小数点第2位を四捨五入しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

2) 「無回答」は、回答していないものを表しています。

3) その他の意見や自由回答についての掲載は、同じ意見や回答は一つにとりまとめて整理してあります。

【高校や大学などを卒業後、大野に住みたいと思うか】



【卒業後、大野市外に住みたい理由】

大野は田舎すぎるから、都会での生活も経験してみたい。／大野は田舎でなんもないから。／大野よりは町な所に住んでみたい。／大野市は田舎すぎて不便。／田舎から出たい。／田舎が嫌。／都会に行けば何でもあるから。／都会に行ってみみたいから。／都会に住みたいから。／都会のほうが魅力的だから。

福井県に買い物をするところがないから。／便利だし、買い物とかもたくさんできるから。スタバなどのチェーン店がたくさんあるから。

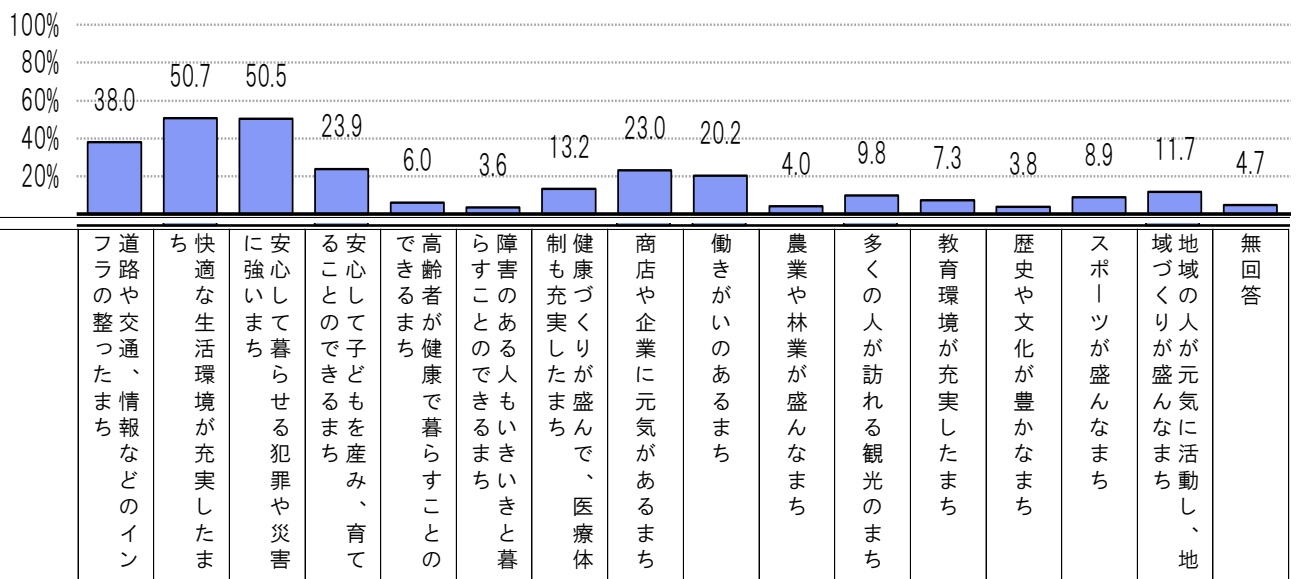
交通の便が悪いから。／電車が少ないから。／電車やバスの本数時間が他の市に比べて少ない。どこか行こうと思っても車が必ず必要になる。

いい町だけど、就きたい職がない。／いろいろな所で働きたいから。／ゲームデザイナーとかゲームプログラマーになりたいから。／やりたい仕事が大野市外にあるため。／ろくな仕事がないから。／楽しそうな仕事が多そうだから。／企業が少ない(働く)。

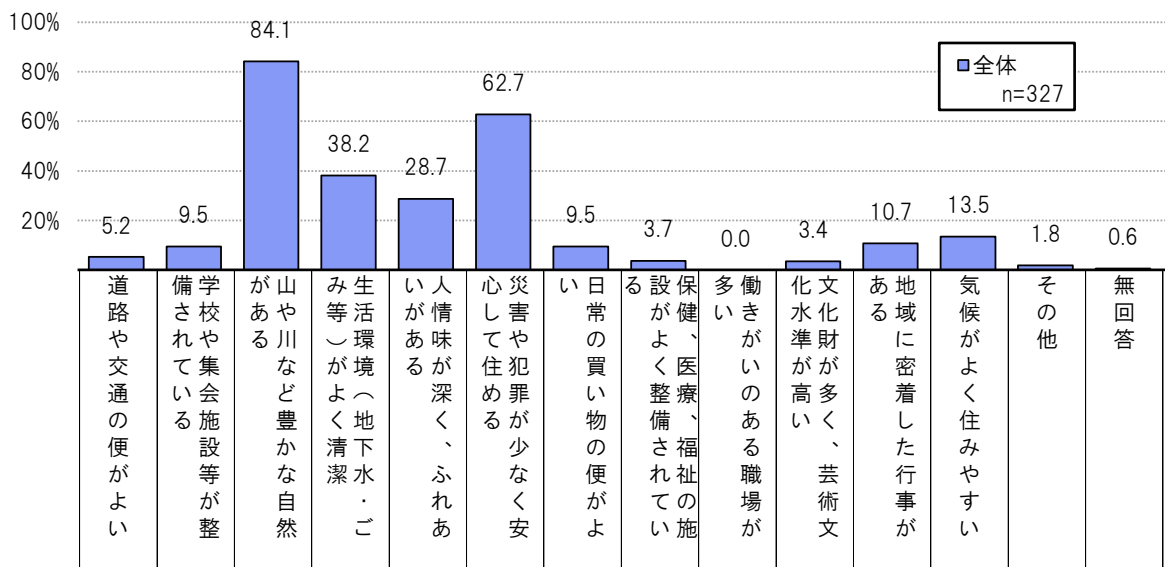
行きたい大学が市外にあるから。／行きたい大学が東京だから。／自分の行った大学の県に住みたいから。／進学したい大学が市外にあり、そのままそこに住みたいから。

いろいろなものを見てみたいから。／ずっと大野に住むよりもほかの土地に住んでみたいから。／もっとでかい世界へ行きたい、見たい。／もっと一人で自立ができるようにしたい。／一人で生活してみたいから。／一度、大野市の外で住んでみたい。／家から出て一人暮らししたいために。／外国に住みたいから、外国人としゃべりたいから。／世界に行きたいから。／大野では、自分の将来の夢が叶えられないから。

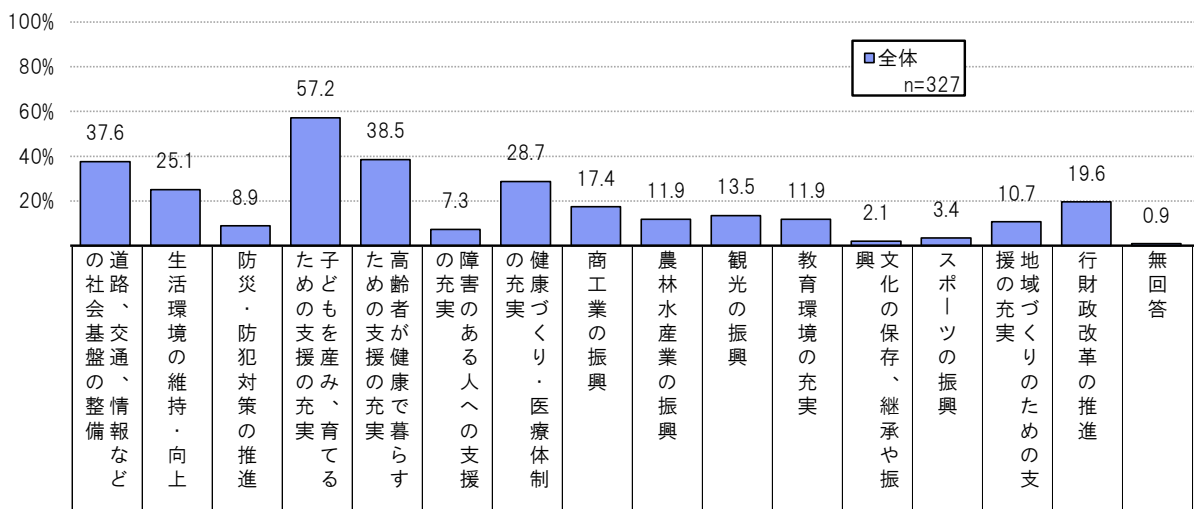
【中高生が考える将来住んでみたいと思うまち】



【市民が考える大野市の現在のイメージ】



【市民が考える今後必要となる取り組み】



『ゆかりのある方向けアンケート』結果概要

(1)調査の目的

大野市にゆかりのある方々を対象に、居住者とは違う、別の視点からの意見も参考とするため、総合計画策定に向けたアンケート調査を実施しました。

(2)調査の方法

大野市外在住で大野市にゆかりのある方200名を無作為にサンプリング対象として抽出し、郵送による配布・回収によりアンケート調査を実施しました。

(3)調査期間

令和元年 7月19日～ 8月 5日

(4)回収率

配布数	回収数	回収率
300	146	48.7%

(5)掲載数値について

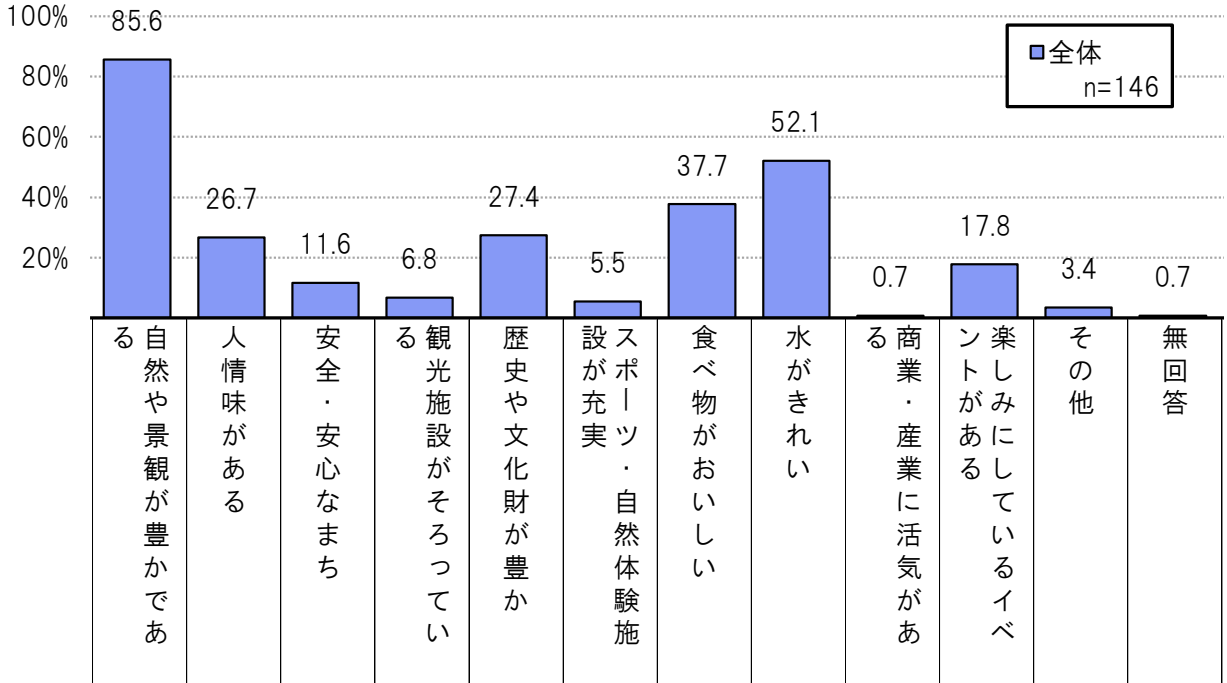
1)構成比(%)の合計は、個々のデータに対して、小数点第2位を四捨五入しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

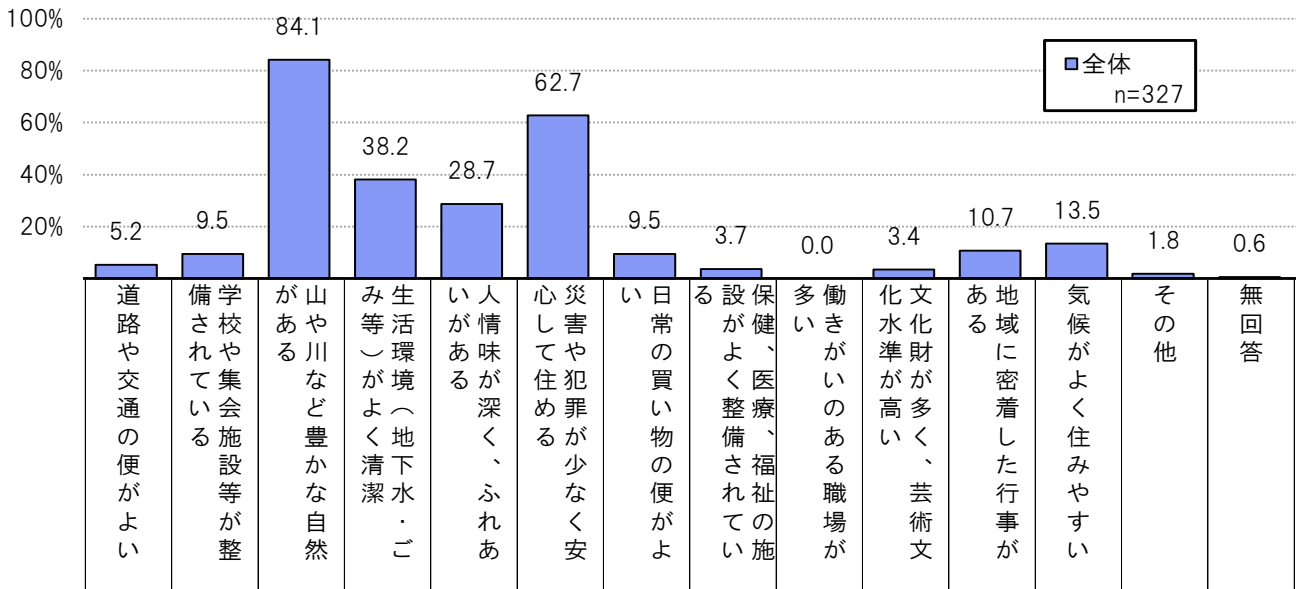
2)「無回答」は、回答していないものを表しています。

3)その他の意見や自由回答についての掲載は、同じ意見や回答は一つにとりまとめて整理してあります。

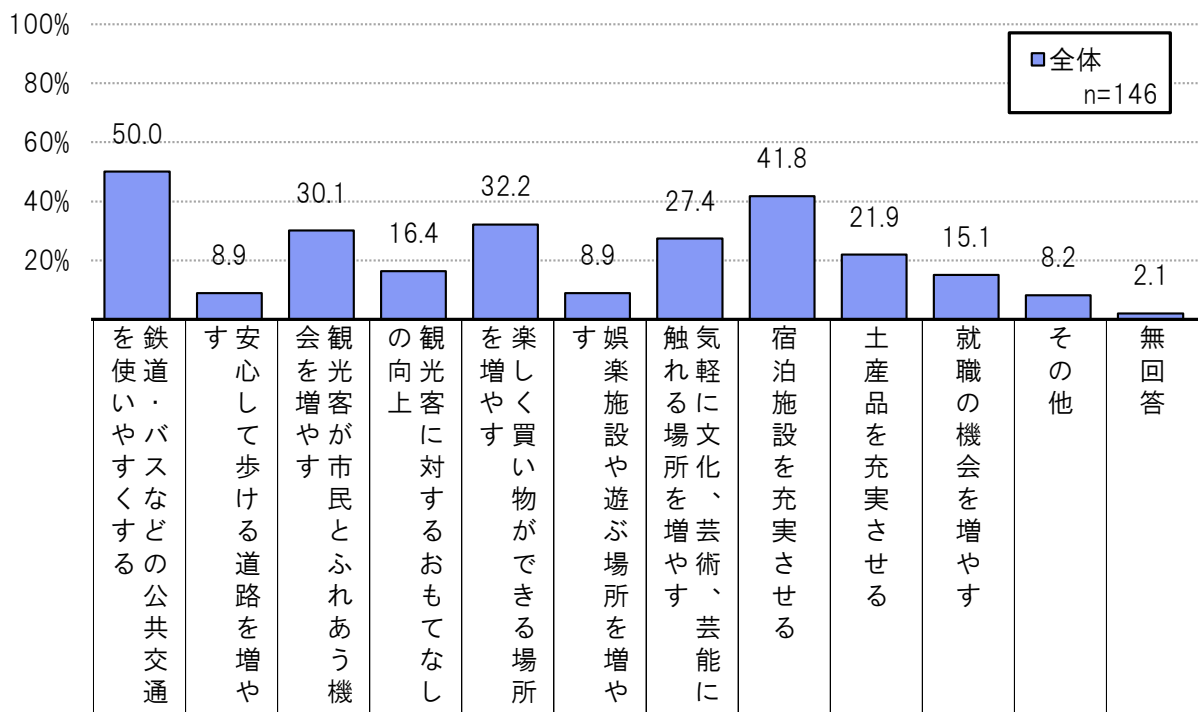
【市外の方(ゆかりのある方)が思う大野のよいところ】



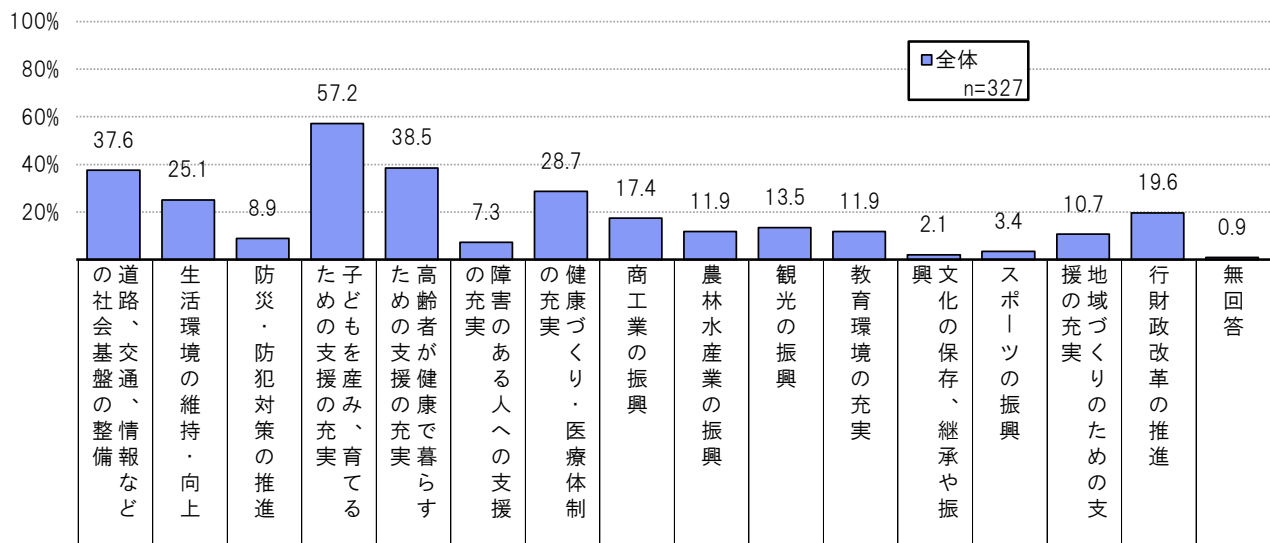
【市民が考える大野市の現在のイメージ】



【市外の方(ゆかりのある方)が思う大野の改善すべきところ】



【市民が考える今後必要となる取り組み】



『移住者向けアンケート』結果概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、市民の意識やまちづくりに対する意向などを把握し、新たな大野市総合計画策定に関する計画課題と施策展望などについて検討するための基礎資料として、実施するものです。

(2) 調査の方法

大野市へ移住された方及び大野市への移住を検討されている方に対して郵送している「おおのぐらしにゆーす」登録者のうち、市内に居住する方を対象に、郵送による配布・回収によりアンケート調査を実施しました。

(3) 調査期間

アンケートの配布・回収 令和元年 8月19日～ 9月 6日

(4) 回収率

配布数	回収数	回収率
11	55	20.0%

(5) 掲載数値について

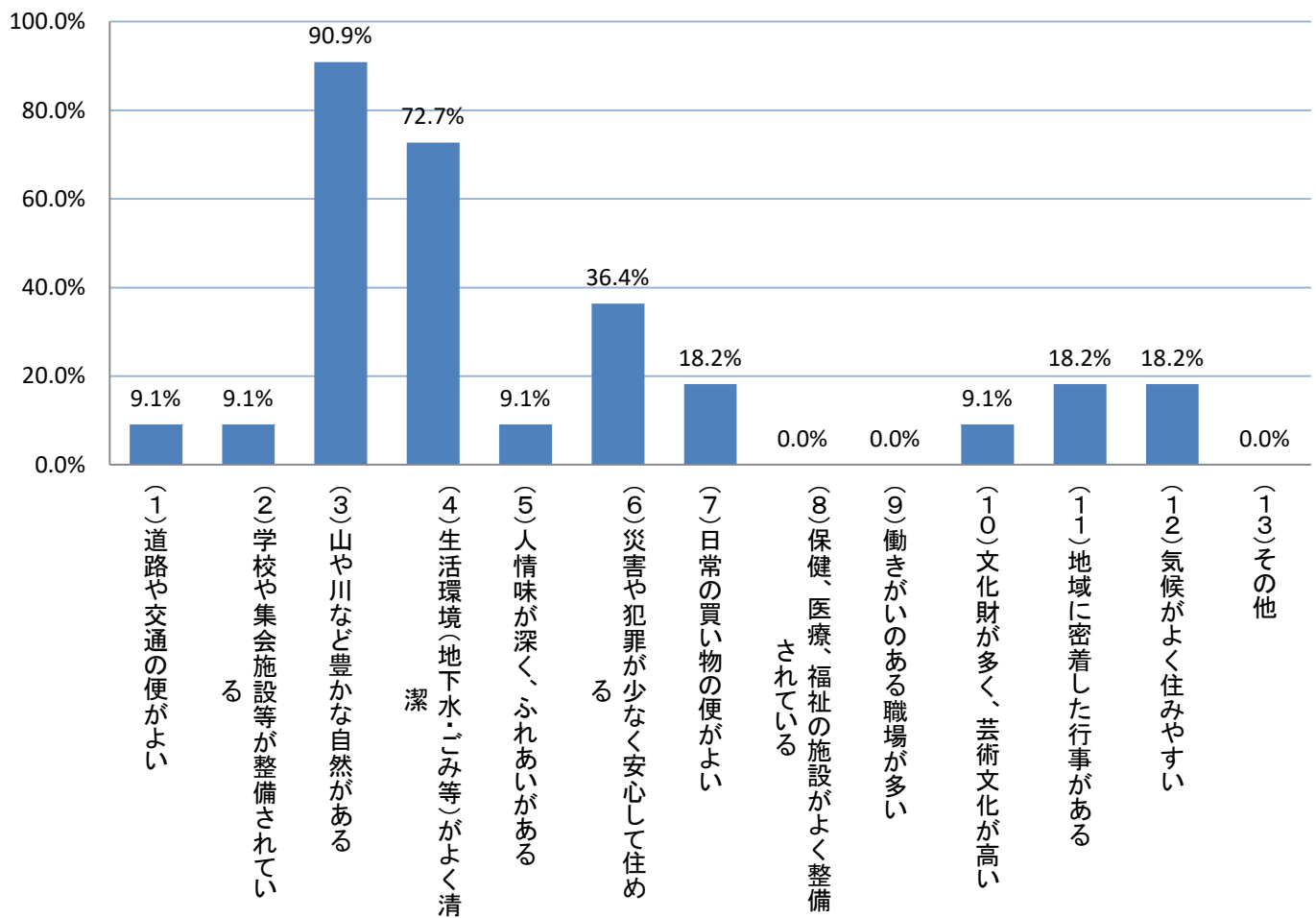
1) 構成比(%)の合計は、個々のデータに対して、小数点第2位を四捨五入しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

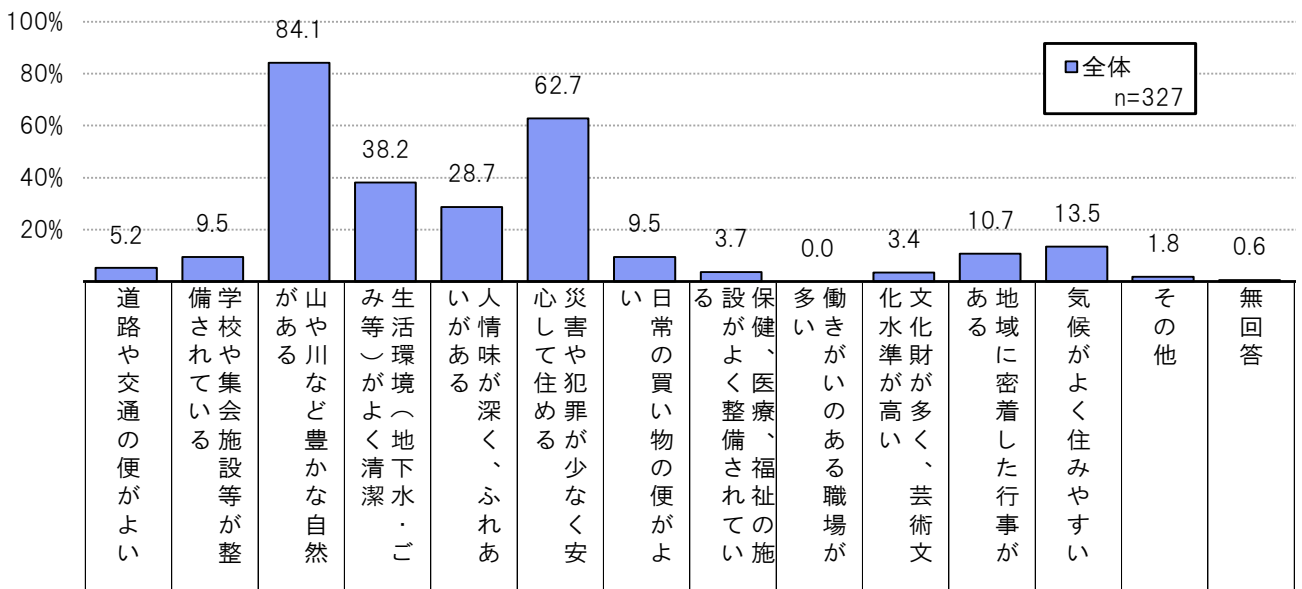
2) 「無回答」は、回答していないものを表しています。

3) その他の意見や自由回答についての掲載は、同じ意見や回答は一つにとりまとめて整理してあります。

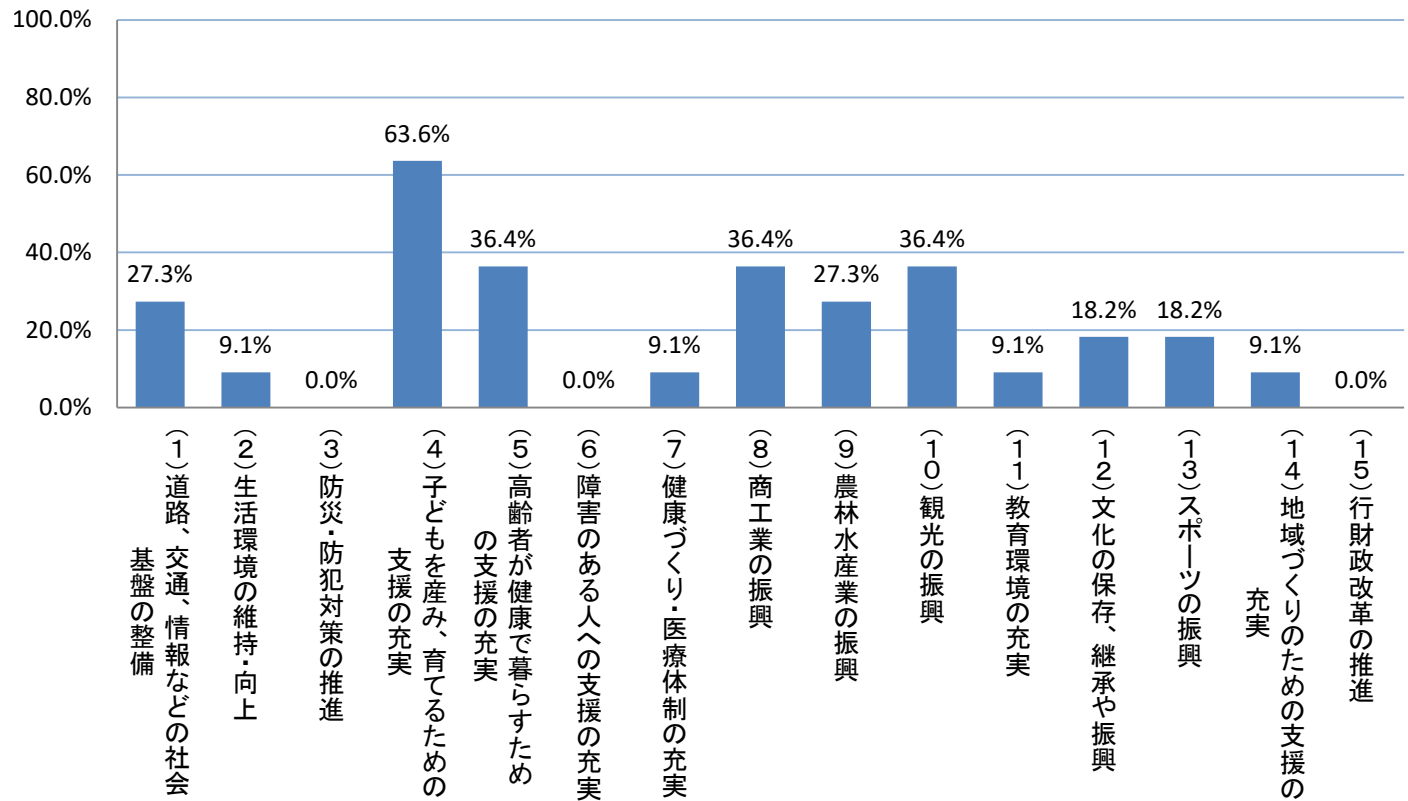
【移住者が考える大野市の現在のイメージ】



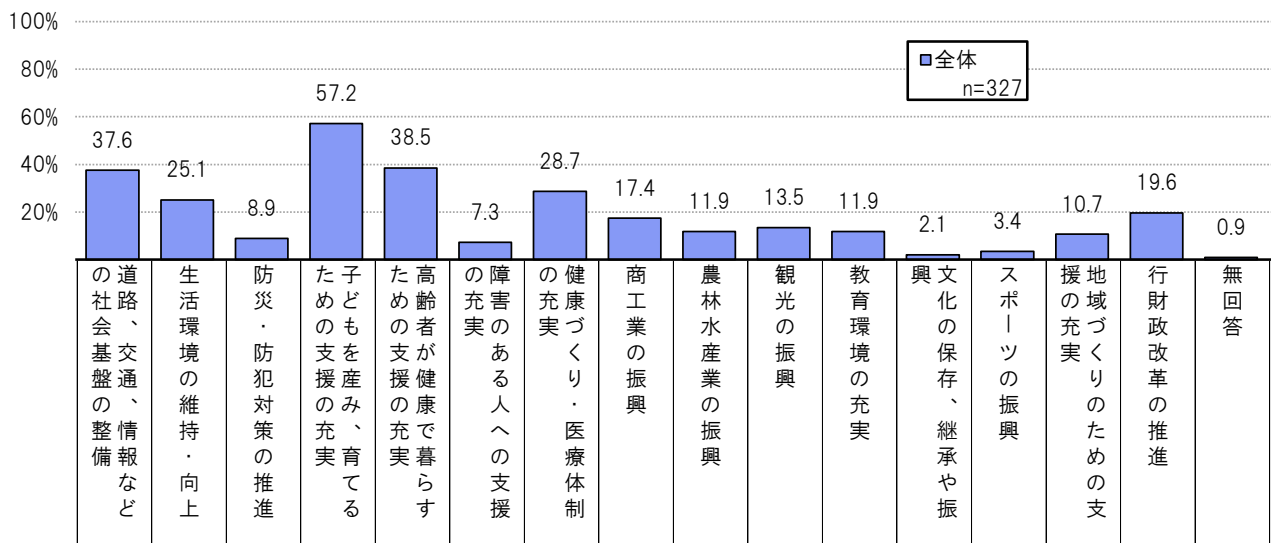
【市民が考える大野市の現在のイメージ】



【移住者が考える今後必要となる取り組み】



【市民が考える今後必要となる取り組み】



【子育て】

- ・もうちょっと子どもを育てやすく産みやすくして、子育てに対する対策を向上してほしい。
- ・子どもが遊べる施設が必要(特に屋内施設)。
- ・子育ての充実化。
- ・安心して子育てができるような市にしてほしい。

【教育】

- ・小学・中学(高校)で日本でここでしか受けられないような特化した教育を進め、それを県内の大学につなげ、つながりのある企業誘致へ。子どものために親は動く時代だと思う。まずは、人を魅了する教育の設備を。
- ・子ども達に未来の大野を築く教育をさせてあげてほしい。
- ・勉強できるところが少ないので増やしてほしい。

【健康】

- ・高齢者が少しでも長く自覚し自立出来るよう生活習慣予防(食事・運動・病気になりにくい)、詐欺との関わり方、高齢者の今の医療費などのお話を近くの集会所などで聞ける機会を作ってほしい。
- ・高齢者自身も周りの方の支援をいただきながら、自ら健康で暮らして行けるための努力も大切だと思う。
- ・高齢者だけでなく、コミュニティにおける役割を意識できることで、健康(身体・精神)になれる。
- ・健康のまちとしてつくり上げるとよい。

【医療】

- ・住み続けるにあたって不安なことは、入院できる病院が少ないということ。患者の年齢関係なく真剣に向き合ってくれるドクターを呼び寄せてほしい。
- ・かかりつけ医の多くは、外来患者中心となり、入院できる医療機関が市内では少なくなってきた。福井市などの一次救急病院では、入院期間の短縮が求められ、早期退院後にフォローアップできる体制が必要と考える。
- ・若い世代をよぶためには産科は絶対必要だと思う。ただでさえ不慣れた場所なのに、子どもを安心して生める環境がないのは大問題だと思う。

【スポーツ】

- ・スポーツの発展
- ・スポーツ等でがんばっている子のために支援してほしい。

【福祉】

- ・子ども・老人・障害者の生きやすいまちづくりが、全員の生活しやすいまちにつながるのではないかな。
- ・障害児を預ける施設・スタッフを増やしてほしい。障害児も含めた子どもたちを安心して預けるところが充実していると大野から出る人も少ないし、Uターンする人も移住する人も増えるのではないかな。

【商業】

- ・未来の子どもたちへ豊かな自然を残していくことも大切だと思いますが、もう少し商業施設を増やしてほしい。
- ・高齢化社会で、車の免許返納者が多くなると郊外の大型店舗の集客は難しくなってくる可能性がある。自宅周辺に来る移動型の店舗が多くなると便利かもしれない。

【雇用環境】

- ・若者が働きやすいと思う市づくり。未来につなぐために今を変えていくこと。
- ・市内に魅力的な就職先がほとんど無いのが致命的。市外で就職を希望する子どもに反対はできない。
- ・企業が少ないため企業を誘致する。大野のような田舎は世界中どこにでもあって、大野に住みたくなる強い理由がほしい。
- ・就職先としての産業(会社等)がないため、優秀な人材が外部に出る。大野の地元で就職できる場所である企業誘致、産業育成が急務。
- ・安心して暮らせるだけの給与をもらえる仕事が必要。特に男性。農業にパートで行っているが、とても安い給料で重労働。若い人が入ってこない。男性はこの給料では家族を養えないから余計に。

【農林業】

- ・大野市の農作物の品質の良さをもっと県外・国内・国外へのアピールし強みにするべき。
- ・村部では今から10年後には農業ができなくなり耕作放棄地が増えてくると思われる。担い手支援も必要だし放棄地を花畑にするなど、景観を維持する取り組みも必要。

【観光】

- ・大野市の魅力となる、風景や財産を守り、まちづくりを行うことが重要。まちなかの観光の充実させるとともに、百名山である荒島岳の観光スポットを連携させる。道の駅を中心とした観光開発に取り組み、第2の玄関となる事を重要視してほしい。
- ・交通網を良くして観光客を増やし、観光客と市民の「あたたかい関係」を作り上げること。
- ・宿泊施設が少ないので不便である。観光客に対してもの言い方がぶっきらぼうで、戸惑う人たちが多かった。柔らかく接してもらえたらもっと大野が好きになってもらえると思う。
- ・担当部署の横の連携は重要！朝市は農林の担当ではない！観光の視点を入れなければ消失します。

【地下水保全】

- ・おいしい水、豊かな大自然、大野の魅力を未来へつないでほしい。
- ・水と自然。自然環境を大切に教育。生きもの、緑を多くする。ゴミを少なくし、きれいな大野市に。

【生活環境】

- ・住んでいる人たちの基本となる生活環境の維持・向上にも地道に取り組んでほしい。
- ・大野の美しい自然をそのままの形で残してほしい。
- ・「環境」「自然」など「結」「名水(湧水)」を少し発展させ(SDGsもくみとりつつ)、気候変動、温暖化など地球規模で進行する環境破壊に対して大野市は大野市らしい取り組みを行っているとし内外へ表明していくことはどうだろうか。

【生活インフラ】

- ・若い人が大野に残りたくても、就職先の選択肢が少ない為、結局市外や県外に行ってしまう。よく耳にするのは「冬の事を考えたら、福井市へ移住してしまう」ということ。大野市は除雪作業も早く丁寧だと思うが、若い人が少しの雪かきも面倒だと考える人が多い為かもしれない。
- ・市街地と村部の利便性の差が広がらないようにしてほしい。交通、買物、通院、すべてにおいて暮らしやすいとは言えない。高齢化も進む一方で不安。
- ・福井と違って除雪が行き届いていて冬でも意外と楽。

【公共交通】

- ・JR越美北線の本数が少なく、快速もないため、鉄道での通勤がとても不便。福井市方面への通学・通勤に合わせた快速便をつくってほしい。
- ・大野市は交通の便が悪く、車にのれない私たちにとって足となるのは電車とバスだけ。バスや電車を1時間に1本は出すようにしてほしい。
- ・鉄道はあるが、車以外の観光客や故郷訪問者の足としては不便で訪問しづらい(福井～大野間の交通の便の改善が必要)。

【地域づくり】

- ・大野から一度出た人は意識は高いように見える。そのような人が故郷にもどると力を発揮するのではないか。Uターン者を多く持つための努力があっても良いのではないか。
- ・地域のつながりが薄くなり、良い意味で世話を焼く人、仲人になるような人が減ってしまった。あまり他人の事に関わらないでおこうという気持ちが強くなってきているように思う。
- ・人と人がつながって協力する、みんなが「結」の心でつながっているような所にした。
- ・福井の田舎は閉鎖的で暗いところが多いが、大野はとても人間味があって優しい人が多い。不便なところも多いが人間性の良さでカバーできるくらい素晴らしいと思う。

【防災・防犯】

- ・横断歩道では、必ず車が止まってくれる交通安全運動を行ってほしい。
- ・防災、防犯対策における自助、公助、共助の考え方は高齢化社会における地域コミュニティにもつながる。

【生涯学習、文化、芸術】

- ・文化芸術を楽しむ心の余裕のない人が多い。コンサートや美術等の楽しむ場がない。福井や県外に出ないと見られないし、楽しめない。
- ・昔ながらの伝統などを伝えていく。

【行政改革】

- ・人口3万人を切る事を基にまちづくりを考えれば、将来性の無いムダな施設を民間払い下げ又は閉鎖して、子どもの教育費に投資していただきたい。
- ・人口減少はさけられない！今のうちに施設の増改築をしておこう、ではなくて、後々に付けを回さない為にもよく研究してほしい。重荷にならないように。
- ・市職員も含めて「対人」の心が感じられない場合が多い。Uターン、Iターン、観光、移住。全て他府県で生活している、又は生活していた人を相手にする。接客や交通マナー向上において競争も向上心もないままでは、観光や移住政策は成り立たない。大野は人情味溢れる人が多いのに、その入口対応で損をしてしまうのは非常に勿体無い。
- ・近隣自治体との連携は急務！特に勝山市。仲が悪いなどと首長や幹部の個人的な関係で決めてはいけない。